

〈あいきょう〉モノづくり支援塾

- 目的** 愛三OBの熟練実務経験者が職場に出向き、『職場と一体』となり
- (1)物と情報を現地現物で実践を通じてメンバーで確認でき継続的に活用できる生産活動を定着させる。
- (2)TPSの基本に沿った改善を進める為の手法・技法の基礎を実践活動を通して自主的な改善活動が出来る人材を育成する。

指導員	氏名	沓名茂伸(68歳)		高橋勝二(68歳)	
	在住	大府市		東浦町	
	勤続年数	51年間		47年間	
	資格	TPM(生産保全活動)		JM(改善の仕方) TWI(仕事の教え方)	
	指導実績	興和精密、愛同工業、アオミ精器、倉知製作所、テイケイ気化器		日本超硬、興和精密	
	指導内容	TPM(生産保全活動)の事務局として、生産・品質・原価・納期・安全・教育など各分野のレベル向上活動に従事。			
	指導員の想い	「QCサークル活動推進の大切さ」を実感し、「カイゼンの基本と実践」に基き、『モノづくりの面白さ』を現場カイゼン活動を通じ、伝承していきたいと思っております。ご希望に添えるよう最善を尽くします！ 「改善に終わりはない」と言う教えに基き、押し付けるてやらせるのではなく、相手のレベルに合った指導を心掛けております。			

項目	主な指導内容	回数
前準備	トップの要望、組織・設備・出来高等のヒアリング	2回
現場改善	モノづくり概論、TPSとは、5Sとムダの考え方指導	3回
	現場と一緒に入り、現状調査と問題点の「見える化」指導	
	・現状の姿と求める姿の考え方	3回
	・改善提案一覧表作成→改善着手順位の決定 (工程、問題点、改善案、期限、担当者、予想効果)	3回
	・改善実施→改善による変化の把握(進捗チェック)	10回
結果確認	改善結果現場報告会	1回
	活動反省会(残された課題整理)	2回

回数は、6ヶ月間コース(4回/月×6ヶ月=24回)

合計24回

※指導内容、頻度、期間、費用については、何なりとご相談下さい。



お問い合わせ

2015年1月

愛協産業株式会社 474-8505大府市共栄町7-1-1

tel 0562-77-3500 fax 0562-48-1431

〒474-8505 大府市共栄町7-1-1 早川邦夫

e-mail k.hayakawa@aikyosangyo.co.jp

活動事例	会社名	(株)倉知製作所	
	開始日	2013年4月より (4ヶ月コースで現在継続中)	
	要望	TPSの考え方が定着していないので、 『しくみづくりと人材育成』をお願いしたい	

- ・各工程完成品、組付け作業手順、余剰部品、部品棚など全体を現状把握する



- ・ダンボールで作成したカンバンポストでの改善トライ (効果確認後プレートに変更)



- ・かしめ作業の時間短縮=部品のおき場所に着目し、ダンボールで高さを工夫



活動結果	項目	支援前	支援後
	しくみ	カンバン方式が定着していなかったため、多くの在庫があった	造りすぎが視える化でき、在庫が減った
	人材	世代間のコミュニケーションが不足している	TPSの習得を通じて、コミュニケーションが活発になった

感想	倉知社長様のコメント
	<ul style="list-style-type: none"> ・現場で一緒になってカイゼン指導を受け、メンバーのレベルが上がってきたと感じ非常に満足している。今後も指導して下さい。
	指導員のコメント
	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで培ってきた経験が活かせ、先方にも喜んで頂き、責任感と生きがいを感じるようになりました。